



育生小だより

NO. 10

令和3年10月 8日

学校教育目標 【自ら学び 心豊かな 健康でたくましい子の育成】

☆全国学力・学習状況調査より☆

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった【**全国学力・学習状況調査**】が、例年より約1カ月遅れの5月27日（木）に6年生を対象に行われました。先日届いた【**全国学力・学習状況調査**】の調査結果個人票を返却しました。返却時には、自分の得意とするところをさらに伸ばすには、また苦手とするところを克服するには、それぞれどうしていけばいいかなどの相談をしました。

保護者の皆さまにおかれましては、お子様の得意な領域を認めていただきながら、今後の生活や学習に励みとなるような言葉がけをお願いいたします。

本校の主な傾向をお知らせいたします。調査結果を分析した結果、

学力調査に関する状況は、

国語の正答率については、出題の趣旨が【**目的や意図に応じ資料を使って話す**】問題では全国平均を上回っていますが、【**目的に応じ話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、資料を用いた目的を理解したりする**】問題では全国平均を下回っています。さらに、【**文の中における主語と述語との関係や、修飾と被修飾との関係を考える**】問題では全国平均をかなり下回っています。

一方無解答率については、【**理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する**】問題では全国平均よりかなり高いですが、それ以外の問題ではほぼ同じか全国平均より低い結果になっています。

算数の正答率については、出題の趣旨が【**速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる**】と【**条件に合う時刻を求めることができる**】問題では全国平均を上回っていますが、【**三角形の面積の求め方について理解している**】や【**商が1より小さくなる等分数の場面で、数量の関係をとらえて除法の式に表し、計算をすることができる**】問題では全国平均をかなり下回っています。

一方無回答率については、多くの問題で全国平均とほぼ同じか少しだけ高く、【**複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形の構成の仕方を捉えて面積の求め方と答えを記述できる**】問題の無回答率は全国平均よりかなり高い結果となっています。

児童質問紙から見られる学習状況は、

【**学校の授業以外に平日に1日どれくらい勉強していますか**】という設問では、2時間以上と回答した児童は全国平均をかなり下回っています。反対に全くしないと回答した児童はいませんでした。30分未満と回答した児童は全国平均よりかなり多くいました。

また、【**学校が休みの日にどれぐらい勉強しますか**】という設問では、4時間以上と回答した児童はほぼ全国平均と同じです。しかし、1時間以上と回答した児童は、全国平均をかなり下回り、全くしないと回答した児童は全国平均より多くなっています。

【**国語・算数の勉強は大切だと思いますか**】という設問では、大切だと思うと回答した児童と、【**国語・算数で学習したことは、将来役に立つと思いますか**】という設問では、役に立つと思うと回答した児童はそれぞれ全国平均を上回っています。

【**道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか**】という設問では、あてはまると回答した児童は全国平均をかなり上回っています。

児童質問紙から見られる生活状況は、

【**将来の夢や目標を持っている**】と回答した児童は全国平均をかなり上回っています。また、【**友達と協力するのは楽しいと思う**】と回答した児童は全国平均を上回っています。

しかし、【**朝食を毎日食べている**】と回答した児童は全国平均を下回っています。さらに、【**毎日、同じくらいの時刻に寝る。起きる**】と回答した児童は、それぞれ全国平均をかなり下回っています。

【**普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、テレビ・ゲーム・携帯電話やスマートフォンをしますか**】という設問では、4時間以上と回答した児童は、全国平均をかなり上回っています。

【課題克服に向けての学校の重点的な取組】

1. 自分の思いや意見を文章に表す。「話す」に加えて「書く」力をつける。
 - ① テンプレートを使って条件に合わせて書く練習をする。
 - ② キーワードを指定して学んだことをまとめる活動を行う。
2. 問題を「読み取る」力をつける。
 - ① 「はじめ・中・終わり」を意識した読み方をする。
 - ② 問題を解くために必要なところに線を引いたり、書き込みをしたりする。
 - ③ イメージできる力を定着させるために具体的操作活動を多く取り入れる。
※ 1. 2ともに主語・述語を常に意識させる。
3. できたことを認め、取り組むことへの意欲を高める。(自尊感情・自己有用感を高める)
4. 自主的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。そのために、好きなこと・できることから取り組ませる。効果的な家庭学習の仕方を指導する。
5. 図書室や学級文庫を活用し、読書を進める。
6. 中学校区で連携して、弱みの克服と強みの伸長を図る取組を進める。

【ご家庭へのお願い】

学校での取り組みにご理解いただき、規則正しい生活リズムと家庭学習習慣の定着等に向けて、ご家庭でのご指導・ご協力もお願いいたします。